

ふるさと出部

Hometown Times

第 36 号

発行日：2023年11月30日

発行者：いずえ地区まちおこし協議会
0866-62-3960

出部小 4 年小泉千紗さん（9）
＝四季が丘＝が今夏、自転車 BMX で世界の頂点に駆け上った。英国北部の都市グラスゴーで開かれた世界選手権の「女子 9 歳クラス」で初優勝した。「世界連覇とオリンピックの金メダルが目標」。少女の夢は大きく膨らんでいる。（2 面に関連記事）

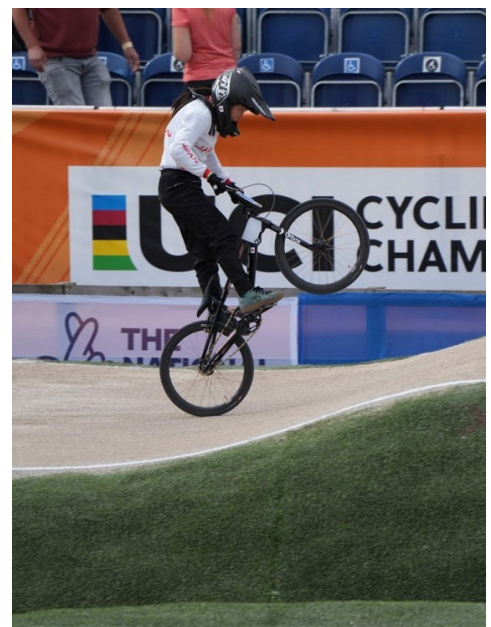
昨年の全日本自転車競技選手権女子 5 ～ 8 歳クラスを制し、世界選手権日本代表に選ばれた。欧州などから 44 人が出場した 8 月 6 日の女子 9 歳クラスで、予選から決勝まで計 6 レースをスタートからゴールまで独走。大きな起伏と狭い間隔の難コースをジャンプ、ロールなど持ち前の技を駆使し、世界の強豪たちを圧倒した。

「緊張したけど、普段の力を発揮できた」とにっこり。指導してきた父親の賢峰（まさみね）さん（47）は「緊張がプラスに働いたのかも。日本選手団に勢いをつけ、代表の責任を果たせた」と振り返る。

小泉さん 出部小 BMX 世界一



英での大会 独走で制す



メニュー

花火支援ライブ&カフェ	3面
元気こだま野外フェスタ	4面
中部自治連、交通安全表彰	12面
新しい出会い出部婚団会	16面
秋を点てる月見茶会	19面

出部地区人口	2023年 10月31日現在	7,353(204)人	男3,588(76)人	女3,765(128)人	世帯数3,300(265)戸	
	2023年 5月末比	-12(21)人	-9(10)人	-3(11)人	120(108)戸	※カッコ内は外国人



大きな舞台、経験したことのない難しいコースに加えて予想外のトラブル…。小泉千紗さんのBMX世界大会制覇は困難を乗り越えた快挙だった。 (1面関連)

父娘一体 難コース克服

BMX世界一小泉さん



初めての海外遠征。8月2日、英国グラスゴーに到着した小泉さんにアクシデントが襲った。荷物が届かず、スケジュールが大幅に狂う。公式練習だけで本番に臨んだ。出場44選手と体格差はなかったものの「速そうな選手ばかり、勝てるかな」。よぎる不安。スタートゲートに立つ。開き直ってペダルを踏む。「軽い、いける」。スタートと同時にトップに立ち、そのままゴール。予選の全レースで首位を譲ることなく決勝に進出した。

自転車との出会いは2歳の時。兄姉について、足をけて進む「ランバイク」を走らせていた。2年後には日本大会を制した。井原市のスポーツ選手表彰式で市出身のBMXライダーと知り合い、5歳でBMXを始めた。笠岡市にあるコースに週1、2度通って練習を積んだ。コーチ役の父賢峰さんが送り迎えをしている。

世界大会にも賢峰さんが同行。コース取りや力を入れたり抜いたりする箇所など、難コースの攻略法を授けた。予選レースで自信はついたが、大勢の観客、大きな声援…決勝の緊張感は抑えられない。高ぶる気持ちを振り切って、ペダル全開、決勝も飛び出した。前には誰もいない、ゴールまで一人旅。「やったー。力と技、父の指導通りにうまく走れた」と喜ぶ。父との約束は本気でチャレンジすること。「五輪の金メダルを目指して頑張りたい」と目標を見据える。

賢峰さんは「小さい頃から海外の大会を経験しないと、世界では戦えない。選手の挑戦を後押しする仕組みあればと思う。親の負担は大きいけど、娘の夢を応援したい。スポンサー探しなど、次に向けて動いていきます」。父娘鷹はさらなる高みへはばたく。



食べて飲んで花火支援

スマイルいずえといずえ地区まちおこし協議会は7月22日、いずえ夏フェスタ2023の花火打ち上げを支援するイベント「イブニングライブ&カフェ」を出部公民館駐車場で開いた。地区内外から約200人が訪れ、歌と踊りを楽しみ、出部の美味しいを味わった。



歌と踊り

ライブ&カフェにぎわう



イベントは8月6日、井原運動公園野球場で打ち上げる花火協賛の輪を広げるとともに、警備ボランティアを激励するために企画。ボランティア約30人に招待券を配布、会場に花火募金箱を設置した。

ライブには公民館サークル「いずえフォーク村」の金田組、チャーリー、長寿の里クラブと「ハワイアンフラ ナーメレ オ ケカイ」、地元の橋本直子さんの5組が出演。アコースティックギターやピアノの旋律に乗せて歌声が高らかに響き、華やかなダンスが出部の夜を彩った。

ソフトドリンク、生ビール、かき氷などのブースを出店。いずえカフェのブースには串カツ、カレー、おでん、ポテト、枝豆のおいしい5品が並び、長い列ができた。遊びブースでは金魚すくい、輪投げ、ヨーヨー釣りが楽しめた。子どもたちは賞品の光るおもちゃを手にはしゃいでいた。

出部地区の子どもたちの多さは数字では知っていても、ささやかなイベントにたくさんの笑顔と元気が集まるとは驚きだった。子どもたちに愛着の持てる活気あふれる、にぎやかな地域づくりの大切さと同時に、子育て支援の必要性を実感させられた。

長
発
太
鼓



いずえ野外フェスタ2023

いずえ野外フェスタ2023が10月28日、井原市リフレッシュ公園芝生広場で開催された。いずえ地区まちおこし協議会とスマイルいずえ公民館が、音楽を通して出部の町を元気にしようと、2021年から開いているイベントで3回目。爽やかに澄んだ秋空の下、多彩な出演者の演奏やダンスに、訪れた地元の人や家族連れなど多くの人が心弾ませた。

金
管
ア
ン
サン
ブル



オープニングは、井原小学校児童たちによる勇ましい長発（ながおき）太鼓の演奏。真剣なまなざしで太鼓を打つ子どもたちの姿と、響き渡る太鼓の音、そして、体中に伝わってくる振動に観客は魅了された。

昨年に引き続き「いずえフォーク村メンバー」からは2組の出演があった。息ぴったりの夫婦デュオの「金田組」と、元地域おこし協力隊員の三宅翔史さん率いる「ショージ三宅バンド」の共にハートフルな演奏と歌声が観客の心をとらえると、着ぐるみも登場し、会場を盛り上げた。

初出演のK-POPダンス地元女性グループ「mignon（ミニョン）」。

今年もステージを盛り上げたいと、仲間を

元
気
と
希
望
こ
だ
ま

ミ
ニ
ョン



ショージ三宅バンド



金
田
組

増やしての出演となったトランペッター崎谷由佳利さん。ピアノの安倍千晶さんとのデュオ「P I T O（ピト）」では、情熱的な曲から子どもたちになじみの曲まで多彩な演奏で、期待通り会場を盛り上げ、金管アンサンブルでは、エネルギーな演奏で一気にフィナーレを飾った。

参加者からは「自然の中で音楽を聴くことができ、リフレッシュできました。」との声が聞かれた。

回を重ねるごとに、新たな内容や趣向が加わり、地域期待の恒例イベントとなってきた。来年の4回目が、より多くの地域の皆さんの参加を得て開催できるよう、さらに地域のネットワークを広げ、絆を深めていきたい。

（ショーアップリーダー 石丸知美）

男女の出会いの場を提供しているいづえ地区まちおこし協議会のTeam♥キューピットは8月26日、前回好評だった「ワインパーティー」をスマイルいづえ出部公民館で開催した。

メインワインとして今年5月、広島市で開催されたG7サミットのランチとディナーでテーブルに載った山野峡ワイン。そして、井原ワインや岡山マスカットワイン等を楽しんだ。おつまみづくりでは、独身男女の参加者から原田瑛里さん主導の下全員で楽しく調理をしながら交流を深めることが出来た。

会場の飾り付けを可愛くするなど、YouTubeのBGMで男性8人女性7人の参加者の皆さんの緊張を和らげる工夫も試みた。

時間の経過と共に歓談は盛り上がり、席替えタイムあり！LINE交換あり！と、今どきの光景が微笑ましく思えた。

次回は12月9日にBBQを開催します。

(Team♥キューピットリーダー 原田節子)

ワインに集う

出会い応援パーティー

おいしい笑顔広がる



元井原中教諭

田邊さん高らか

いづえカフェ連携ライブ



米寿が魅せたカンツォーネ

「米寿の調べ カンツォーネ」と題して9月22日、いづえカフェ連携アフタヌーンライブをスマイルいづえ公民館多目的室で開催した。

井原市内の小中学校で理科教諭を務めた田邊泉さん(倉敷市在住)が出演。歌唱歴約40年の美しいテノールで「オーソレミオ」「カタリカタリ」などのイタリア歌曲やシャンソン、「百万本のバラ」などなじみの歌を声高らかに響かせた。童謡「夕焼け小焼け」「ふるさと」を会場の聴衆と一緒に歌った。

「恩師である田邊先生にお会いして、歌を聴きたい」と、遠方からの観客もいた。来場者には、自身の人生経験や人々との出会いなどをエッセイにしたための冊子「田邊流 愉快的人生」が贈られた。冊子の結びに「我が人生は 我が宝 教え子と共にあり」と記されてあった。今回のライブは、田邊さんの人柄、人生がにじみ出る感動のステージとなった。

ニュースポーツ快汗



▲ 囲碁ボール

ひまわり学級が健康講座

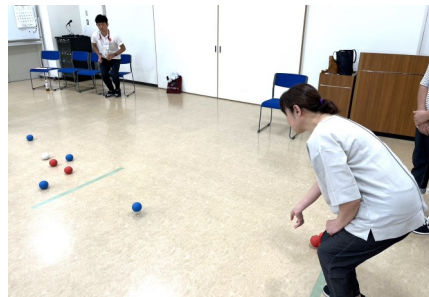
7月22日に本年度2回目のひまわり学級を開きました。今回は運動講座で、ニュースポーツの「ラダーゲッター」と「ボッチャ」と「囲碁ボール」の3種目に取り組みました。

狙いを定めてボールを投げたり、スティックでボールを打ったりするもので、ルールが易しく初心者でも楽しむことができました。

▶ ラダーゲッター



◀ ボッチャ



楽々健康体操&簡単パック料理

8月26日に出部栄養教室開講式を開催しました。本年度の参加申込みは21名です。

開講式では17名が参加し、年間行事予定などの案内をしました。本年度は、8月に開講式&第1回栄養教室（災害時の備え）、10月にひまわり学級と合同で第2回栄養教室（フレイル予防）、2月に閉講式の予定。

栄養教室スタート



第1回栄養教室では、前半に健康指導士の平井千歳先生に椅子に座ってできる簡単体操を指導して頂き、楽しく気持ちのいい汗が出る体操を行いました。後半は調理室にて簡単パッククッキングを行いました。材料をナイロン袋に入れて茹でるだけで、1回分の食事が一度に完成します。災害時だけでなく普段の食事にも取り入れられる調理実習でした。

出部栄養教室では、参加者を常時募集しております。地域の方と楽しく体操&調理を試みませんか。お問い合わせなどはスマイルいずえ（出部公民館）まで。

長寿祝い感謝届ける

78歳以上に敬老記念品



9月3日、78歳以上の敬老事業対象の方に記念品を配布しました。

まだまだ残暑の厳しい中、幹事の皆さんのご尽力により、899名の対象者の方に無事に記念品をお渡しすることができました。

来年度は、より記念品の充実を図り、対象者の皆様にお届けしたいと思います。どうか、これからもますますお元気でお過ごしてください。

社協だより

ふれあい親子料理教室

(8月19日、スマイルいずえ)



災害時に役立つパッキング



12月と2月に給食サービス

2023年度の給食サービスは12月10日(日)と2月11日(日)の2回実施します。77歳以上の一人暮らしと虚弱・寝たきりの人が対象。ちらし寿司を届けます。

地域と小学校 Gゴルフ交流 3世代交流大会



スポーツ日和となった10月7日、出部地区3世代交流グラウンドゴルフ大会（出部地区社会福祉協議会・青少年を育てる会共催）が、四季が丘の市Gゴルフ場で開かれた。地域の子どもから高齢者まで32人が熱いプレーを展開。出部小学校の児童4人が参加した。

芝とクレーの2つのコース計16ホールを回り、世代を超えて親ぼくを深めた。バーディーやホールインワンも相次ぎ、好プレーに大きな歓声が上がっていた。

優勝は森下明敏さん、2位に井上陪夫さん、3位に山崎晴夫さんが入った。



左から3位の山崎さん、1位の森下さん、2位の井上さん



読み聞かせ・ゲーム・クイズ…

更生保護女性会、児童々と交流



出部地区更生保護女性会は8月、児童保育支援事業として放課後児童クラブ交流活動を行いました。

出部幼稚園、いずえっ子クラブ、いずえキッズ、四季が丘児童クラブ



を訪れ、交流しました。

絵本や紙芝居の読み聞かせと、手作りのゲームやクイズ、手品などで児童や園児たちと楽しいひとときを過ごしました。

友愛訪問 果物プレゼント 高齢者たちにメロンやブドウ



出部地区社会福祉協議会は今年も、友愛訪問を行い、果物を届けた。8月10日に、民生・児童委員たちが担当地区の在宅で77才以上の一人暮らしと虚弱・寝たきりの143人を訪問。手紙を添えてメロンを手渡した。

9月11日には井原特産のブドウと手紙を添えて、長寿のお祝いとして在宅で90才以上の134人を訪れた。

座ってストレッチ

健康づくり講座 心地よい汗

出部地区社会福祉協議会は9月9日、健康講座をスマイルいずえ出部公民館で開いた。

健康運動指導士の平井千歳さんが健康体操を指導。「ひざの皿を回そう」「手を挟んで、内もみに力を入れよう」「息は止めない」などと呼びかけた。掛け声に合わせて最高齢の106歳男性たち20人が、椅子に座ってストレッチ、筋トレなど心地よい汗を流した。





一丸 チーム出部

4年ぶりの市民体育祭 6位

第61回井原市民体育祭が10月1日、井原運動公園陸上競技場で開かれ、出部チームは6位に入りました。

4年ぶりの体育祭は入場行進をやめ、競技も5種目に減らし、規模を縮小して開催。出部チームは選手・役員総勢100人が参加しました。



玉入れ競技



走る、
つなぐ、
投げる



ボール運びリレー



長縄跳び



グラウンド・ゴルフ競争

交通安全優良団体に中部自治連

県警本部長・県協会長から表彰

出部中部自治連合会はこのたび、令和5年度の交通安全優良団体に選ばれ、岡山県警本部長と岡山県交通安全協会長から表彰されました。交通安全テント村設置など永年にわたる積極的な交通安全活動や交通事故防止への貢献が認められました。9月22日、岡山市の社の街グレースであった表彰式に出席して感謝状と盾をいただきました。



安心安全な住みよい出部地区でありますようにの願いを込めて、交通安全へ向けてテント村など諸先輩方の継続事業を引き継ぐ決意を新たにしました。井原署交通課、井原市職員の方々の指導の下、出部つなぐ会（旧女性会）の皆さんと協力し、交通安全啓発活動を続けたいと思います。（大山和利）



中部仲よし会の会員18人は7月20日、バルーンアートに挑戦しました。

「なにができるでしょうか？」と、岡川和代先生がクルクルとバルーンを丸めたところで、すぐに「かたつむり」と、正解が出ました。先生が数分で作られたので、簡単かなと思っていたらハートの形を作るのに四苦八苦。割れぬよう、にぎったり、ねじったり、頭と指先をフル回転です。やっとできた作品と笑顔で記念撮影して終了しました。

バルーンアートつなぐ会彫刻展鑑賞

中部仲よし会



10月19日には中部仲よし会メンバー16人の参加で平櫛田中美術館を訪れました。

「第30回平櫛田中賞受賞記念展 棚田康司一線上に幅を 空間に愛をー」が開催されており、儚（はかな）い少女少女の作品には言葉を失っていました。3階に上がるとおなじみの田中さんの作品があり生涯を年譜でたどることができて高齢（107歳）まで創作活動に打ち込んだ姿に感動しました。

鑑賞し終わるとエントランスで笑顔でおしゃべり。来月もまた、元気でお会いしましょうねと。（安井良美）



8月13日、七日市公園

七日市自治連合会



弾む響く

4年ぶり盆踊り



中部自治連合会

8月14日、出部小



高屋川すっきり

西部

市や隣接自治連と清掃作業



出部西部自治連合協議会は10月22日、市と高屋、大江地区自治連合会と共催で高屋川清掃を行った。

高屋大橋南詰より高屋川大橋北詰の総延長1^{キロ}余と清掃範囲も長く、皆様には毎年ご無理をお願いしています。近年の気温上昇により、雑木の伸びるスピードも早く、生えている草木の種類、密度も多くなっているように感じます。

高齢化が進み作業が困難になっていることも否めません。清掃日前に、地区民の方が堤防の上部を数回刈っていただき、作業が思いのほかスムーズに進行いたしました。改めて御礼申し上げます。

黄色いハンカチ掲示率アップ

災害想定訓練

出部西部自主防災会は8月27日、昨年度に続き、災害時に「我が家は大丈夫」を知らせる安心の黄色いハンカチ掲示訓練と、地震を想定した避難訓練を実施した。

黄色いハンカチは、出部西部地区の69%に当たる594世帯が掲示。昨年度を55世帯も上回り掲示訓練の浸透

を感じさせた。

避難訓練には地区内の44単位自治会が参加。自治会ごとに決めた一時集合場所に集まり参加戸数、人数の把握を行い災害時における手順などを確認した。集合時に身近なところ



少年団だより



7月1・2日、
美星 星空間オートキャンプ

七日市少年団キャンプ



夏 ジ ヤ ン プ



西部少年団 海事訓練

7月30日、福山のクレセントビーチ

中部少年団キャンプ



9月2・3日、
美星 星の郷ふれあいセンター





出部中部 岩山神社

10月15日、中部少年団

笛・太鼓…



出部西部 笹賀八幡神社

10月15日、川附子供会



秋祭り
郷愁誘う



資源ごみ11トン回収

————中部少年団

中部少年団は9月24日、各戸を回り資源ごみを回収した。団員・保護者たち58人が参加。新聞紙、段ボール、空き缶、雑誌など合わせて11トンの資源ごみが集まった。資源ゴミは回収業者に引き渡し、少年団の活動資金にあてる。





初の出部婚団会

独身消防団員の新しい出会いをサポートする「出部婚団会」がスタートした。ネットによる合コン参加者募集の呼びかけに女性3人から申し込みがあった。

消防団員

新しい出会い

第1回婚団会は10月8日、福山の飲食店で開いた。団員3人、広島県東部の女性3人が参加した。アルコールも入り楽しく和やかな雰囲気、会話も弾んだ。「今回の婚団会に参加して、趣味が合う方と話すことができ、とても楽しかった。機会があれば参加したい」と団員は喜んでいた。

地域の安全を守るという大きな責務を担う消防団員も、一市民として家庭を築く夢を抱いている。婚団会は、団員の夢を実現へと近づける手助けをするために発足した。近く第2回の開催も予定、婚団会を通じた絆の輪を広げていく。

懇談会申し込みは<https://ibara.info/izuekondankai/>



合同試運転 連携深める

出部分団は10月1日、1、2、3部合同による機械器具の定例試運転をした。出雲池での訓練には13人が出動。ポンプや双口接手、ホースを入念にチェックして、池に向かって勢いよく放水した。

分団は月1回、機械器具の試運転と



点検、使用方法の訓練を実施。有事の際、安全に任務を遂行するための重要な取り組みであり、安全第一を常に心掛けている。特に、若手の団員への指導を重視し、技術の継承と向上に努めている。

私たちのまちは
若者よ来たれ



私たちが守る

消防団員募集中





夏季囲碁・将棋大会（中国新聞備後本社後援）が出部公民館で開かれた。

8月20日の囲碁大会には24人が参加した。8月27日の将棋大会は30人が盤上で熱戦を繰り広げた。

夏季囲碁・将棋大会

熟考 盤上の熱戦

成績は次の通り。

（敬称略）

《囲碁》

A級①神保 圭之②小島 真平③三宅 康之

B級①平原 芳春②長川 哲政③加藤 純志

《将棋》

A級①寺岡 泰伸②徳山 裕文③石井 孝明

B級①三木 雄一郎②川越 淳一③萩野 裕幸

C級①石田 理一②松田 直樹③川越 名棋



将棋A級



左から石井さん、寺岡さん、徳山さん

将棋B級



左から川越さん、三木さん、萩野さん

将棋C級



左から松田さん、石田さん、川越さん

新春囲碁・将棋大会ご案内

スマイルいずえ出部公民館主催

山陽新聞社後援

囲碁大会 1月21日（日）

午後1時から競技開始、受付は午後0時半から

会場：スマイルいずえ出部公民館

競技：参加者の段級によりA級（2段以上）・

B級（初段以下）で競技

会費：500円、小中高生は無料

問い合わせ：坂本 等さん ☎62-2496

スマイルいずえ出部公民館 ☎62-3960

将棋大会 2月4日（日）

午後1時から競技開始、受付は午後0時半から

会場：スマイルいずえ出部公民館

競技：過去の成績によりA・B2級で競技

C級（子ども将棋）

会費：500円、小中高生は無料

問い合わせ：鳥越哲史郎さん ☎63-0759

スマイルいずえ出部公民館 ☎62-3960

《申し込み》＝囲碁・将棋共通

往復はがきで開催案内を送りますので、返信で出欠をお知らせください。初めての方も奮ってご参加をお願いします。

雷雨冷や汗

第23回ゴルフコンペ

スマイルいずえ(公民館)ゴルフ部は、第23回(6月28日)と第24回(10月25日)のゴルフコンペを福山カントリークラブで開催いたしました。

第23回ゴルフコンペは、前日の天気予報は一時雨とのことでしたが、開催当日の朝は快晴！ 記念撮影を済ませ、和やかな雰囲気の中、コンペのスタートでした。昼食後、後半のスタートから雲行きが怪しくなり、経験した事の無い土砂降りの雷雨！ 急いで避

快晴いい汗

第24回ゴルフコンペ

難小屋に避難。クラブからの緊急避難誘導もありクラブハウスに移動です。参加者全員の安全を確認して、ハーフの成績で表彰式を行いました。

前回は雷雨、前々回が豪雨と天気に恵まれないコンペが続きましたが、第24回は絶好の秋晴れとなりました。心配した雨男の汚名を頂くこともなく、参加者38名で、18ホールストロークプレイのコンペを皆さん楽しみました。(三宅 博文)

優勝	坂本 等
2	空岡 進
3	佐藤 純士
4	能見 靖之
5	広畑 輝昌
6	土田 勝士
7	藤井 修二
8	安部 弘和
9	吉岡 秀雄
10	立石 幸男

第23回コンペ 上位入賞者

優勝	新谷 雅司
2	坂本 等
3	島倉 千秋
4	能見 靖之
5	神田 隆
6	久安 憲男
7	大戸 勇二
8	池田 浩子
9	吉岡 努
10	佐藤 博

第24回コンペ (敬称略)



第23回コンペ参加者



第24回コンペ参加者

秋を点てる

優雅に月見茶会

「うわあ、かわいいお菓子。お月様だ。お団子かな。」「お茶、おいしい。ほっとする。」と、喜んでくださる声に、元気をいただく。

9月23日、公民館茶道教室による観月茶会が、公民館の行事として開催された。当日は、仲秋の名月まであと一週間という、上弦の月（曇りで見えなかったが）。爽やかな風と虫の音が、秋を感じる。公民館の駐車場で、3席お点前をして、子どもから年配者まで約60人のお客様に楽しんでいた。

お茶会をするたびに、公民館の係の方々に手伝っていただき、ありがたい。そして、地域の人たち、他地区の人たちとの出会い、ご縁に、お茶っていいなと、感謝でいっぱい。



皆さん、出部公民館茶道教室で、一緒にお茶を楽しみましょう。また、出部地区の皆さん、年2回このような茶会をしていますので、気軽に一服お運びください。

(三宅富美子)

ふるさと出部発見フォトコンテスト

作品募集中
応募者全員に参加賞

※2023年4月から12月までに岡山県井原市出部地域で撮影した写真か、出部をテーマにした作品。地区外からの応募OK
※デジタルデータ（jpeg）かプリントアウトした作品（2L判～A3判）
※氏名・連絡先、作品タイトル、撮影日・場所を明記。1人5点まで（組み写真不可）

応募の注意

※スマホ・タブレットの写真も可。他コンテストとの二重応募不可
※作品の著作権は応募者に帰属しますが、応募時点で、主催者関連の広報・ポスター・パンフレット・Webページ等のほか主催者が作成する印刷物等に、無償で使用するについて同意したものとみなします。作品は返却しません

【送付先】〒715-0021 井原市上出部町1219-2 出部公民館「ふるさと出部発見フォトコンテスト」係
mail:izue-km@ibara.ne.jp（メールで応募OK） 【問合せ先】出部公民館 tel・Fax:0866-62-3960



締切2023年12月31日（必着）

主催：スマイルいずえ（出部公民館）、出部地区社会福祉協議会

飛び出せ いずえっ子

濱田 絢士ちゃん 男の子
(2017年4月25日)



濱田 悠李さん 男の子
(2012年12月6日)

＝笹賀町

小学生も掲載します

「ふるさと出部」では元気なお子さん（小学生まで）を紹介します。掲載するのは①名前（ふりがな付き）②生年月日③性別④町名⑤顔写真。保護者の連絡先を添えてスマイルいずえ出部公民館（〒715-0021、井原市上出部町1219-2）まで郵送するか持参してください。

メール（izue-km@ibara.ne.jp）でも受け付けます。

ご寄付 ありがとうございます

地域のためにと満中陰志のご寄付をいただきました。謹んでお礼申し上げます。

（敬称略）

◎満中陰志

《中部自治連合会》

安井 明（亡母）

《出部地区社協》

高橋 秀和（亡父）

安井 明（亡母）

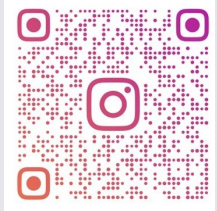


Instagram



izuekm

スマイルいずえ
出部公民館の
Instagram



いずえ地区

まちおこし協議会の

ホームページ



<http://www.ibara.ne.jp/~izue-km/machi/>

編集後記

BMX世界選手権優勝と市民体育祭再開の2つのニュースからスポーツ振興について考えさせられた。BMXはメディアで大きく取り上げられ、オリンピック出場への期待も高まるが、国内、海外大会への遠征や練習などで家族への負担は大きいといわれる。体育祭はレクリエーションを通じ交流を図り、運動を楽しむ場を提供するのが目的。ただ出部地区では全戸に参加申込用紙を配布したものの応募はゼロだった。BMXや新体操での世界、全日本レベルの選手輩出には市民の関心は高い。運動を楽しむ機会づくりに加え、選手が世界や全国で戦えるサポート体制づくりも行政に求められる。

（S・F）